

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第3区分
 【発行日】令和1年12月5日(2019.12.5)

【公表番号】特表2019-508659(P2019-508659A)
 【公表日】平成31年3月28日(2019.3.28)
 【年通号数】公開・登録公報2019-012
 【出願番号】特願2018-539428(P2018-539428)
 【国際特許分類】

F 4 1 G 1/38 (2006.01)

G 0 2 B 23/16 (2006.01)

【 F I 】

F 4 1 G 1/38

G 0 2 B 23/16

【手続補正書】

【提出日】令和1年10月28日(2019.10.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

クリックをよりよく感じることができる唯一の方法は、機械的デテントがより大きくなるように、タレットの径をより大きくすることである。しかしながら、多くのタレットにとって、これは、不利である。なぜならば、目的は、スコープを、小さく、ストリームライン化され、かつ、軽量に保つことであるからである。多くの狩猟用スコープは、理想的なタレット寸法、クリック感、および、回転あたり移動を有し、これは、15 MOAあたりが、通常、1回転あたりの最良のタレット調節量であることを意味する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0054

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0054】

1つの実施形態では、タレットベース220は、中央部分222を有するのがよい。もう1つの実施形態では、タレットベースは、スクリーのような装置を挿入するための中空の円形内部を有するのがよい。タレットベース220は、底部に装置の挿入のための開口部226を有するのがよい。1つの実施形態では、スクリーは、タレットスクリーである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0144

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0144】

54. ライフルスコープであって、該ライフルスコープは、スコープ本体と、タレットと、を含み、前記タレットは、底部側に結合されたピンを備えたノブと、頂部側上にトラックまたは溝を備えたベースと、頂部側上にトラックまたは溝、および、底部側上にピンを備えたリングと、を含み、前記ノブピンは、前記リングの頂部側上の前記トラックまたは

溝に載り、前記リングの底部側上のピンは、前記ベースの頂部側上の前記トラックまたは溝に載る、ライフルスコープ。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0145

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0145】

55. ライフルスコープであって、該ライフルスコープは、スコープ本体と、タレットと、を含み、前記タレットは、底部側に結合されたトラックまたは溝を備えたノブと、頂部側上にトラックまたは溝を備えたベースと、頂部側上にピン、および、底部側上にトラックまたは溝を備えたリングと、を含み、前記リングピンは、前記ノブの頂部側上の前記トラックまたは溝に載り、前記ベースのピンは、前記リングの底部側上の前記トラックまたは溝に載る、ライフルスコープ。